



刈谷南中学校新聞

第410号 令和5年9月6日
刈谷市立刈谷南中学校
刈谷市住吉町2丁目1番地
電話0566-21-0025

校長 葉山 靖彦

「挑戦」 ～ 緊張感の中で学び取れるもの ～

8月3・4日。2年生の林間学校が行われました。新型コロナウイルスの制限も緩和され、できることが増えてきました。

キャンプファイヤーのフィナーレに「火舞」を行いました。実際にトーチに火を付けての火舞は久しぶりの取組でした。危険も伴う取組でもあるため、事前にレクリエーション協会の方に来校してもらい、指導をしてもらったり、これまで以上に丁寧に指導を行ったりして、安全には留意しながら準備を進めました。



当日、トーチに火を付けると、灯油のにおいと炎の音で緊張感が漂いました。そんな中、2チームの発表は見事に成功しました。発表が終わったときは、学年全員から大きな拍手と「すごい」という歓声が巻き起こりました。発表を終えた生徒は、やり遂げた充実感と緊張から解き放たれた安心感がにじみ出した素敵な笑顔を見せてくれました。「緊張したけど、気持ちよかった」「ドキドキしたけど、みんなから拍手してもらえてうれしかった」等、緊張感の中、真剣に取り組んだからこそ、味わえる体験になったと思いました。

これまででは何かと我慢することが多かった日々でしたが、これからはいろいろなことに「挑戦」して、一回りも二回りも大きく成長してほしいと思います。



選手権大会 ～熱戦を繰り広げた夏～

夏の選手権大会が終了しました。どの会場においても、3年生を中心に最後まであきらめずに戦う姿がありました。また、選手だけでなく、チームを一生懸命応援する姿もありました。悔しさをにじませながらも、2年半やり切ったという達成感を得た3年生の姿が印象に残っています。

また、運動部だけでなく、文化部の活躍も光っています。科学部は日本学生科学賞に向けて、班ごとに研究を進めており、これから大詰めを迎えます。

音楽部



陸上競技部



水泳の部



林間学校 ～本物の仲間#～

2年生は8月3日、4日に乗鞍高原に行ってきました。今年は登山ができませんでしたが、たくさんの工夫があった林間学校でした。1日目に行った上高地散策では、フォトコンテストを行い、タブレット端末を使って、景色や植物などの写真を撮影しました。キャンプファイヤーでは、練習を積み重ねた火舞を披露し、見ている人を感動させました。また2日目には、班で協力して飯盒炊さんを行いました。火をおこしたり、飯盒でお米を炊いたりしてふだんでは味わうことができない体験をしました。作り終わってからも、盛り付けコンテストのために、作ったカレーやサラダの写真を撮影しました。

学年の仲間と民宿に泊まり、食事をしたり、たくさん会話をしたりして絆が深まりました。この絆を今後の学校生活で大いに生かしてほしいと願っています。



かりやミライ授業 ～サッカー日本代表監督から学ぶ～

夏休みも終わりに差ししかかった8月25日(金)に総合文化センターにて、かりやミライ授業としてサッカー日本代表監督である森保一氏による講演会が行われました。森保監督と言えば、2022年W杯で強豪国であるドイツやスペインを破り、日本をベスト16に導いた監督としても広く知られています。そんな森保監督を目の前で見て、実際に話を聞いたことで、今後の部活動や学校生活について考えさせられたと思います。



「サッカー部がないなら作る」という森保監督の積極性や行動力は、中学生の時からだと知りました。実際に部活を作るということに衝撃を受けました。

そして「挑戦」はとても大切だと思いました。挑戦することは難しいことですが、今日の話聞いて、挑戦を続け、将来の夢を叶えたいと思いました。(1年男子)